

八戸ワイン産業創出プロジェクトについて

【事業目的】

気候と土壌への適応性の高いぶどうの生産と国内市場が拡大傾向にあり、産業として裾野の広いワイン産業の創出により、当市の主産業である農業の付加価値の向上に資するとともに、地域経済の活性化及び雇用の増大を図るため。

1 定植品種の収量等について

(1) ワイン用ぶどう生産者数 (R7.8.5 時点)

13 経営体 (うち、法人 3 経営体)

(2) 令和 6 年産ワイン用ぶどう生産状況

品種名	収穫量 (kg)	単収 (kg/10a)	平均糖度 ^{※1} (Brix 値)	収穫期	
				9 月	10 月
ピノノアール	923	818.8	19.1		上
マスカット・ベリーA	5,338	1,317.2	17.5		中 下
メルロー	5,130	1,201.7	19.4		上 中
ケルナー	62.6	20	17.3	中	
シャルドネ	2,586.2	1,050.3	21.1		中
キャンベルアーリー	871	1,006.9	14.8 ^{※2}		上
デラウェア	70	82.4	18.5		上
ナイアガラ	2,932	3,162.4	14.9	下	上
ポートランド	420	600	11.8	下	
リースリング	1,030.4	682.8	17.5 ^{※2}		
ピノグリ	155	358.1	19.4		
ソーヴィニヨンブラン	197	394	21.4		上
奇跡の雫	30	1,714.3	21.9		上
ツヴァイゲルトレーベ	989.9	162.9	17.6	中 下	
合計・平均	20,735.1	775.1	18.3		

※1 平均糖度は、果実糖度(収穫したばかりのぶどうの糖度)と果汁糖度(除梗・圧搾後のぶどう汁の糖度)の平均値

※2 キャンベルアーリー、リースリングは果実糖度

【参考】収穫量の推移

(単位 kg)

品種名	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ピノノアール	133	150	258.7	96.4	283	531.5	434	923
マスカット・ベリーA	1,547	1,137	3,403.1	1,480	1,822	2,133	3,709.4	5,338
メルロー	170	456	209.5	1,032	1,597	2,742	2,761	5,130
ケルナー	156	228.5	418.4	707	292	-	-	62.6
シャルドネ	20	100	285.8	638	782	1,384.5	2,362	2,586.2
キャンベルアーリー	150	1,413	2,673.5	3,195	3,215	1,807	1,924	871
デラウェア	48	154	170	270	256	250	340	70
ナイアガラ	526	693	1,340.8	1,944	2,893	2,585	2,951	2,932
ブラッククイーン	3	-	9.4	-	-	-	-	-
ポートランド	-	411	737.1	1,320	460	384	240	420
ヤマソービニオン	-	-	17.6	58	100	170	-	-
リースリング	-	-	-	10	40	125.4	211	1,030.4
ピノグリ	-	-	-	-	130	160	120	155
ソーヴィニヨンブラン	-	-	-	-	-	-	6	197
奇跡の雫	-	-	-	-	-	-	6	30
ツヴァイゲルトレーベ	-	-	-	-	91	410	519	989.9
合計	2,753	4,742.5	9,523.9	10,750.4	11,961	12,682.4	15,583.4	20,735.1

【参考】平均糖度^{※1}の推移

(単位 Brix 値)

品種名	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
ピノノアール	20	15	20	17	19.5	19.4	-	19.1
マスカット・ベリーA	17	19	18	18	17.1	17.7	18.3	17.5
メルロー	21	19	21	18	20.0	19.4	19.0	19.4
ケルナー	20	17	20	17	18.1	-	-	17.3
シャルドネ	19	19	19	18	19.2	18.9	18.3	21.1
キャンベルアーリー	17	17	17	12	15.4	15.3 ^{※2}	16.3 ^{※2}	14.8 ^{※2}
デラウェア	20	21	20	15	18.1	19.3	19.5	18.5
ナイアガラ	19	19	17	13	14.1	16	14.9	14.9
ブラッククイーン	17	-	15	-	-	-	-	-
ポートランド	-	11	16	11	15.5	15.1	14.5	11.8
ヤマソービニオン	-	-	17	19	19.4	17.1	-	-
リースリング	-	-	-	16	-	-	-	17.5 ^{※2}
ピノグリ	-	-	-	-	18.5	20.4	17.1	19.4
ソーヴィニヨンブラン	-	-	-	-	-	-	20.5	21.4
奇跡の雫	-	-	-	-	-	-	21.1	21.9
ツヴァイゲルトレーベ	-	-	-	-	-	-	-	17.6
平均	18.9	17.4	18.2	15.8	17.7	18.1	18.1	18.3

※1 H29年産：果実糖度、H30年産：果汁糖度、R1年度以降：果実糖度と果汁糖度の平均値

※2 R4年産以降のキャンベルアーリー及びR6年産のリースリングは果実糖度

2 市内ワイナリーの現状について

◎株式会社サンワーズ（澤内醸造）

- ・平成29年度八戸市ワイナリー創出支援事業を活用し、ワイナリーを整備。平成29年9月に竣工。
- ・酒類製造免許取得、ワイン醸造を開始。
- ・八戸ワインの初リリースは平成30年1月。

（参考）令和6年度～7年度にリリースされた八戸ワイン

No	商品名	使用ぶどう
1	Ga Mascut Baily A 2021	マスカット・ベリーA
2	Ga Chardonnay 2022	シャルドネ
3	Bastardo 2022	メルロー
4	Muscat Bailey A "TARU" 樽 2023	マスカット・ベリーA
5	Cinquanta Cinquanta	マスカット・ベリーA、メルロー
6	Pinot Grigio 2022	ピノグリージオ
7	NOREN のれん Bianco 24'	ナイアガラ、ポートランド



Muscat Bailey A "TARU" 樽2023

Cinquanta Cinquanta

Pinot Grigio 2022

◎八戸ワイナリー株式会社

- ・平成29年産の南郷産ぶどうを(株)紫波フルーツパークに醸造委託したワインを平成30年5月に販売。
- ・平成30年度八戸市ワイナリー創出支援事業を活用し、ワイナリーを整備。平成31年4月に竣工。
- ・酒類製造免許取得、ワイン醸造を開始。
- ・八戸ワインの初リリースは令和元年10月。

(参考) 令和6年度～7年度にリリースされた八戸ワイン

No	商品名	使用ぶどう
1	スパークリング アルファ ロゼ	キャンベルアーリー マスカット・ベリーA
2	メルロー2023	メルロー
3	マスカット・ベリーA 2023	マスカット・ベリーA



スパークリング アルファ ロゼ



メルロー2023



マスカット・ベリーA 2023

(参考) 八戸ワイン製造本数の推移

(単位 本)

年度	澤内醸造	八戸ワイナリー	合計
H29年度	955	-	955
H30年度	1,300	-	1,300
R1年度	2,000	1,460	3,460
R2年度	3,750	2,990	6,740
R3年度	2,114	3,850	5,964
R4年度	1,530	3,250	4,780
R5年度	810	2,555	3,365
R6年度	1,558	3,332	4,890
		計	31,454

3 令和6年度の取組について

(1) 各種補助事業

①特産果樹産地育成・ブランド確立事業補助金（県補助）

ワイン用ぶどうの雨よけ施設及び支柱等の整備に対する補助

★交付実績 醸造用ぶどう雨よけハウス 2経営体

醸造用ぶどう支柱 1経営体

②ワイン用ぶどう鳥獣被害対策事業補助金（市補助）

鳥獣被害を防止するための資材等の購入に対する補助

★交付実績 鳥獣用ネット、箱罾、音・光発生器等 10経営体

(2) ワイン需要拡大プロジェクト

①ナチュラルリスト～自然派ワインのセミナー～（1回）

ワイン文化の定着と魅力を発信するため、八戸ワインフェスティバル実行委員会（実行委員長 澤内昭宏）と市が共催により、「自然派ワイン」をテーマとして、セミナーに特化した形式で開催したもの。

★開催実績

開催日	令和6年6月16日
会場	八戸まちなか広場「マチニワ」
参加者数	34名
内容	<ul style="list-style-type: none">・ワインセミナー（ワインのテイスティング有り） 講師：Natan葡萄酒醸造所 醸造家 井下奈未香氏 Yellow Magic Winery 醸造家 岩谷澄人氏・トークセッション 出演者：井下奈未香氏、岩谷澄人氏、澤内昭宏氏・地域おこし協力隊員による活動発表



(トークセッションの様子)



(会場の様子)

②八戸ワイン産業振興セミナー（2回）

ワイン需要の拡大や人材育成を図るため、平成28年度から開催。

★開催実績

開催日	令和6年6月26日	令和6年11月29日
会場	八戸パークホテル	八戸パークホテル
参加者数	39名	24名
内容	講演「大激変している国内ワイン市場」、「全国イオン接客販売コンクール第1位最優秀ソムリエ佐々木信子さんの接客術」 講師：マスターソムリエ 高野豊氏 ソムリエ 佐々木信子氏	講演「フランスと合体して三年で世界一になった中国ワイン」、「接客の極意、ライバル店から推薦されるソムリエ」 講師：マスターソムリエ 高野豊氏 ソムリエ 佐々木信子氏

③八戸ワインカレッジ（3回）

ワインに関する知識の普及と文化の定着を図るとともに、八戸ワインの魅力の発信とブランド力の向上を目的に平成30年度から開催。

★開催実績

【ワイナリー&ぶどう園見学ツアー】

開催日	令和6年10月6日
会場	澤内醸造、南郷ひなた農園、はちのへワイナリー
参加者数	17名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・澤内醸造見学 ・昼食（SAWAUCHI） ・南郷ひなた農園見学（ぶどう収穫体験） ・はちのへワイナリー見学 ※会場間はバスで移動



（ぶどう収穫の様子）



（はちのへワイナリー見学の様子）

【ワイン講座】

開催日	令和7年1月23日	令和7年2月23日
会場	Voila (ボワラ)	ランコントル
参加者数	8名	8名
内容	初心者向け講座 講師：日本ソムリエ協会 認定ソムリエール 清水伸江氏	ペアリング講座 講師：日本ソムリエ協会 認定ソムリエ 寺澤淳一氏



(初心者向け講座の様子)



(ペアリング講座の様子)

④ 8 baseを活用した首都圏向け八戸ワインPRイベント（2回）

首都圏における八戸ワインの更なる認知度向上を図るとともに、8 base及びネット等での販売促進に資するため、8 base店頭において、市内ワイナリーと共同で、八戸ワインPRのための試飲販売会を開催。

★開催実績

1回目 令和6年12月21日～12月22日（参加ワイナリー：はちのへワイナリー）

2回目 令和7年1月15日～16日（参加ワイナリー：澤内醸造）



(はちのへワイナリー)



(澤内醸造)

(3) ワイナリー及びぶどう園地視察研修の実施（1回）

★開催実績

開催日：令和6年8月30日

視察先：小坂七滝ワイナリー（秋田県小坂町）、弘前市ぶどう園地2か所、
つがるワイナリー（青森県鶴田町）



（ぶどう園地視察の様子）



（ワイナリー視察の様子）

(4) ワイン用ぶどう栽培講習会の開催（1回）

★開催実績

令和6年5月29日 志村葡萄研究所 志村所長による現地巡回指導（5圃場）

※その他、農業経営振興センターにおいて、土壌分析による施肥設計や病害虫防除等に関する指導を適宜実施。



（現地巡回指導の様子）

(5) ワイン用ぶどうの収穫作業に関する報道機関への公開（1回）

★開催実績

開催日：令和6年10月8日

参加報道機関：3社

(6) 地域おこし協力隊の任用

総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、平成27年度から任用開始。令和6年度は5月1日付けで新たに1名の協力隊（鳥谷部彩隊員）を任用。

4 今後のワイン産業創出プロジェクトについて

(1) プロジェクトの名称変更

「八戸ワイン産業創出プロジェクト」→「八戸ワイン産業振興プロジェクト」

(2) 今後のプロジェクトの展開方向

項目	これまでの取組概要	今後の方向性
1 南郷新規作物研究会議	南郷地区における新たな作物を研究（ワイン用ぶどう、薬用作物を選定）	⇒栽培に関する研究は継続し、会議の今後の在り方を検討していく予定。
2 文化定着イベント等	① セミナー ② ワインカレッジ ③ 8baseでのPRイベント ④ 民間団体との共催や後援	⇒ワイナリーの増加によるイベント等の充実、「食のまち・八戸」と関連した取組の推進
3 生産技術支援	① 栽培講習会 ② 土壌分析等 ③ 視察研修	⇒栽培講習会については、有機栽培の生産者も増えていることから、新たに有機栽培の講師を招聘する予定。
4 補助支援事業	① 苗木購入補助 ② 雨よけ施設等整備補助 ③ ワイナリー整備補助	⇒国・県等の事業を活用しながら支援を継続する。
5 地域おこし協力隊の任用（※）	平成27年度から、計11名の協力隊員が任用され、プロジェクト推進活動（ぶどう栽培や醸造に関する支援及び調査、イベント企画等）に従事。	⇒任用を継続し、さらなるプロジェクトの振興を図る。

※地域おこし協力隊の任用

令和7年度から新たに2名の協力隊を任用し、4名体制で活動中。

あきやま ゆきお
秋山 行雄 隊員 任用日：令和7年5月1日

たかやま よしこ
高山 好子 隊員 任用日：令和7年6月1日